

双ヶ丘中だより



京都市立双ヶ丘中学校 11/6 第20号 文責 林

学校教育目標 「心豊かに探究心をもち、未来へ歩み続ける生徒を育成する」

第3回トークイン双ヶ丘

第3回「トークイン双ヶ丘」を11月2日（金）に実施しました。「トークイン双ヶ丘」は、自分の思いを全校生徒の前で発表する催しです。私も「今回はどんな話しが聞けるのかな」と楽しみにしています。今回のテーマは、「体育大会、文化祭を通して学んだこと」です。各学年2名の生徒が、元気に発表してくれました。

1年女子

「私は他にも、たくさんの思い出がありますが、どれも協力しないといけない、やる気がないとできないことばかりでした。まだ、私は中学1年ですが、あと2年で3年生になります。だからこの文化祭、体育大会でのできごとをいつまでも覚えていたいです。」

※本気になれば見えてくるものがありますし、新しい自分を発見することもあります。

1年男子

「中学校生活初の文化祭。始まる前は『暇そうや』や『だるそう』など思っていました。でも、そのような考えが一瞬して消えました。……人生初の文化祭、とても楽しかったです。来年も楽しみです。」

※文化祭を楽しむ、すばらしいことです。学校行事で自分自身の楽しみを見つけてください。

2年男子

「……『みんなで絶対に良い歌を歌いたい』と思いました。……僕は、合唱コンクールを通して、一人で何かをやり遂げることに、クラス全員で一つになって何かをすることに、大きな意味があると実感することができました。」

※クラスみんなで何かをつくりあげるとは喜びであり、宝物になります。

2年女子

「そして、本番当日。……どんな歌を歌ったのか、聴いている人はどんな気持ちか、私たちにはわからなかった。でもよい歌を歌うことができた。」

※「よい歌を歌うことができた」ことは、感動ですね。自分自身をほめてあげてください。

3年男子

「今、受験に向かっている訳ですが、クラスの雰囲気は少し悪いです。自分の役割を果たせていても目の前の小さなことまで目が届きませんでした。後期、自分の役割を果たせるよう犠牲になるつもりでまとめられるようがんばろうと決意します。」

※卒業前に合唱コンクールで歌った歌をもう一度歌おうというクラスになることを願います。

3年女子

「しかしパート練習や音楽の授業を通して私たちのためにがんばってくれていた指揮者や伴奏者、パートリーダーなどの励ましががんばりをみてこのままじゃいけないと思い、変わろうと思った。次の日から私はとりあえず、パート練習を一生懸命することから始めた。」

※まず自分自身を変えることで何かが変わることを実感してくれました。よかったです。